

国語科学習指導案

- 一．日時 平成二十五年一月二十五日（金） 十三時四十分～十四時二十五分
- 二．場所 一年生教室
- 三．学年 小学校一年生

四．単元名・使用教科書名

おはなしを たのしもう
たぬきの 糸車 （光村図書一年下・ともだち）

五．単元目標

- ・語のまとまりや言葉の響きなどについて考えながら音読することができる。
- ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。
- ・たぬきやおかみさんになったつもりで、本文にない言葉を想像して書くことができる。

六．教材観

「たぬきの 糸車」は、物語の展開が明解であり魅力的な登場人物の行動描写が中心となった文章である。人物の行動から場面の様子をとらえるのに適した教材である。

「キークルクル」という糸車が回る音（擬音）と、「くるりくるり」という擬態語が「くにつれて」という言葉でつながれ、リズムカルな楽しさや、ユーモラスな情景を描き出している。児童は音読を重ねることで、言葉の楽しさを実感し自然に物語の世界に入っていくことができる作品である。

作品の柱となっているものは、「たぬきのいたずら心」であり、「おかみさんとたぬきの心の交流」である。たぬきがわなにかかったところを助けてもらい恩返しをする姿や、やってみたくてたまらなかったことを思う存分やり尽くして喜々として帰って行く姿は、児童が十分同化できるものになっている。また、そんなたぬきの姿に親しみとかわいらしさを感じるようになったおかみさんの気持ちも、自然に感情移入ができる教材である。

七．児童観 略

八．指導観（単元のねらいにせまる手だて）

○手だて①ペープサートの活用

登場人物の気持ちを考えさせ、お話の世界にたつぷりと浸らせることができるように、ペープサートを持って、たぬきやおかみさんになりきって吹き出しの言葉を発表する授業を行う。そうすることで意欲が高まり、さらに想像を膨らませて気持ちを考えることにつながる。

○手だて②パターン学習の活用

同じパターンの授業の積み重ねには、どのような流れで授業が進むのか予想できるので、子どもたちが安心して授業に取り組める。また、前時までに学習したことを思い出し、活用して学習を進めやすいので子どもたちの思考力を高めることにつながる。

本単元では、場面ごとに、たぬきとおかみさんの気持ちに注目して読みを進めることを通して、たぬきとおかみさんの心の交流を深く読み取ることができるようになりたい。

○手だて③ペア学習の活用

自分の意見がもてない子どもや自分の意見に自信がもてなくて発表しにくい子どもがいる。一人より二人で考えた意見を発表させることで安心して学習に取り組めるようにしたい。たぬきとおかみさんの役割分担をすることで、お話を楽しむことができるようにしたい。

○手だて④スモールステップのワークシートの活用

第二時～第六時で使うワークシートは、吹き出しでセリフを書き込むことができるものを使う。第七時～第九時で使うワークシートは、本文の行間にかぎ（「」）でセリフを書き込むことができるものを使う。

第七時～第九時のワークシートのセリフは、前時までの学習で付け足した言葉を活用するが、それ以外の自分で考えたセリフもどんどん付け足してステップアップできるワークシートにする。とで、さらに、お話を楽しみながら読みを深めることにつながると考える。

九．単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	○お話にない言葉などを進んで考え、楽しんで音読しようとしている。
読む能力	○音読するために登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉を付け足している。 ○登場人物の様子や気持ちを想像し、音読のしかたを工夫している。
書く能力	○登場人物の気持ちを想像して語や文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書いている。
言語についての知識・理解・技能	○話した言葉を、かぎ（「」）を用いて書いている。

十．単元の指導と評価計画（全九時間）

時	学習活動	発問や指示・留意点・支援	評価規準
第一時	○全文を読み、お話のあらすじをつかむ。 ○場面分けをする。 ○好きなところやおもしろいとおもった言葉について発表し、感想を交流する。 ○ペープサートを使った発表会を知っている。	・ 一つのお話ですか。 ・ どのお話ですか。 ・ だれが出てきますか。 ・ どんなことがありましたか。 ○時・場所・出来事に注目して、場面を五つに分ける。 ・ 見つけた好きなところやおもしろいと思った言葉を発表しましょう。 ○たぬきとおかみさんのセリフを考えて本文に付け足し、発表会を知っている。	・ お話にない言葉などを選んで考え、楽しんで音読しようとしている。 【関】（発表）

第二時	○第一場面を音読する。 ○一軒家の様子やたぬきのいたずらについて話し合う。 ○ペアで、たぬきやおかみさんの気持ちを想像し、発表する。	○たぬきになったつもりで、いたずらについて考えさせる。 ・たぬきは、どんないたずらをしたでしょうか。 ○文中の言葉を手がかりに想像していくように助言する。 ○お話の世界に浸れるように、たぬきとおかみさんのペープサートを使って発表する。	・音読するために登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉を付け足している。 【読】（ワークシート）
第三時	○第二場面を音読する。 ○たぬきが糸車を見ている様子について話し合う。 ○たぬきやおかみさんの気持ちを想像し、発表する。	○たぬきが糸車を回すところを見ている様子を、揭示物を使って想像する。 ○文中の言葉を手がかりに想像していくように助言する。 ○ペープサートを使って発表する。	・音読するために登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉を付け足している。 【読】（ワークシート）
第四時	○第三場面を音読する。 ○おかみさんがたぬきを逃がした理由について話し合う。 ○たぬきやおかみさんの気持ちを想像し、発表する。	○文中の言葉を手がかりに想像していくように助言する。 ○ペープサートを使って発表する。	・音読するために登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉を付け足している。 【読】（ワークシート）
第五時	○第四場面を音読する。 ○たぬきが糸車を回す様子について話し合う。 ○たぬきやおかみさんの気持ちを想像し、発表する。	○たぬきが上手に糸車を回す様子を、読み取る。 ○文中の言葉を手がかりに想像していくように助言する。 ○ペープサートを使って発表する。	・音読するために登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉を付け足している。 【読】（ワークシート）

第六時 (本時)	○第五場面を音読する。 ○帰って行きたぬきの様子について話し合う。 ○たぬきやおかみさんの気持ちを想像し、発表する。	○たぬきがびよんぴよこ踊りながら帰っていった様子を想像する。 ○文中の言葉を手がかりに想像していくように助言する。 ○ペープサートを使って発表する。	・音読するために登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉を付け足している。 【読】(ワークシート)
第七時	○全文を音読する。 ○ペアでたぬきとおかみさんに役割分担をする。 ○たぬきやおかみさんになったつもりで教科書にないセリフを考え、本文に付け足す。	○前時までの学習で付け足した言葉を活用するように助言する。 ○前時までに付け足した以外のセリフも付け足してよいことにする。 ○自由にセリフを書き込めるワークシートを用意する。 ○会話文は、「」を使って書くよう指導する。	・登場人物の気持ちを想像して語や文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書いている。 【書】(ワークシート) ・話したことばを、「」を用いて書いている。 【言】(ワークシート)
第八時	○読み方を工夫して、本文や付け足したセリフを練習する。	○たぬきやおかみさんの気持ちが表れるように、読み方を工夫する。	・登場人物の様子や気持ちを想像し、音読のしかたを工夫している。 【読】(発表)
第九時	○ペープサートを使って、みんなで発表会をする。	○場の設定を工夫し、発表を意欲的なものにする。	・登場人物の様子や気持ちを想像し、音読のしかたを工夫している。 【読】(発表)

十一・本時の展開

(一) 本時の目標

場面の様子や登場人物がしたことから、気持ちを想像し、登場人物が話した言葉を想像してセリフを付け足しながら読む。

(二) 本時の学習展開

時	学習活動	発問や指示・留意点・支援	評価規準
導入 (七分)	○全文を音読する。 ○第四場面までのふりかえりを行う。 ○本時のめあてを確認する。	○第四場面では、たぬきが上手に糸車を回して糸を紡いでいることを押さえる。 ・今日の学習のめあては何でしょう。	
第五場面のたぬきとおかみさんの気持ちを考えて、セリフを発表しよう。			
展開			
(三分)	○第五場面を音読する。	○たぬきの様子に気をつけながら読むように指示する。	
(二分)	○おかみさんに気づかれたたぬきの様子について考える。	・おかみさんに気づかれたたぬきは、どんな顔をしたでしょうか。	
(三分)	○帰っていくたぬきの様子を読み取る。	・たぬきは、どんな様子で帰っていききましたか。	
(五分)	○ペアで、たぬきとおかみさんのセリフを考える。	○ワークシートの吹き出しに書き込むように指示する。	・音読するために登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉を付け足している。 【読】(ワークシート)
(五分)	○ペアで、セリフの練習をする。	○みんなに分かりやすく発表できるようにする。	
(十五分)	○ペアで、セリフの発表をする。	・ペープサートを使って、たぬきとおかみさんのセリフを発表しよう。	
まとめ (五分)	○たぬきとおかみさんの気持ちをまとめる。	○各ペアの発表から、同じような考えのものをまとめる。	